

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 62 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www.ukita.gr.jp>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp
発行日：2006年4月5日(水)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(62)
肌荒れ！

野木 隆雄



春がやってきました。このすがすがしさはなんとも言えません。毎年来る春ですが、今年の春と同じ春は二度とありません。毎日毎日、ひと時ひと時二度とやってきません。毎日忙しく過ごしているからこそ、今この時を大切に過ごしたいと感じています。

「春ごとに 花のさかりは ありなめど あひ見む事は いのちなりけり」と昔の人は「一期一会」の大切さ、切なさを歌い、一刻一刻を真剣に生きてきたのでしよう。醍醐寺三宝院の桜は とても見応えがあります。一点の曇りもない晴れた上がつた気持ちにさせてくれます。不思議な力を持った木です。桜の「さ」は「殻(か)」、^く「く」は「磐座(いわくら) (神の降臨する岩)」と言われ、殻が降り立つ依代(よりしろ)と崇められてきました。豊臣秀吉が開いた

花見を再現する行事の大間花見行列は絢爛豪華な宴で、三宝院の大切な催しのひとつとなっています。「今年はどこの桜に会えるかな」と楽しみで一杯です。皆様も心に残る桜と出会ってください。

今月は肌あれのお話です。肌あれの方は、髪が抜けやすかったり、不眠、集中力が不足したり、月経過少(血虚の状態)で血液不足や機能低下の現れ、月経痛、



醍醐寺の桜(京都)

首と胸と背中とは茶色や赤い箇所、カサカサやジュクジュクの箇所を認めた。肘と膝の裏は赤黒く盛り上がり痒みが強かった。脈は弦、沈、遅。

口の乾き、お腹の膨満感、手足の裏の灼熱感、色素沈着(瘀血の状態)で微小循環不全、静脈血の鬱滞の現れ、頭痛感、喉のつまり、胸の痛み、手足の痛み(気滞の状態)で気の鬱滞の現れなどを伴います。そこで、血や気の流れを改善する作用のある漢方薬を使用します。たとえば、四物湯、桂枝茯苓丸、加味逍遙散、当归芍薬散などがあります。的確な処方方は四診(漢方的な診察方法)によって診断します。では実例に移ります。

一〇歳男児、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、胃腸虚弱、イライラ。青黒い顔で両頬は赤くザラザラ、腹は緊張し、腹直筋緊張、臍上悸、胸脇苦満、小





舌は淡暗色、乾白苔。そこで、補中益気湯、温清飲、紅参、薏苡仁と乾燥した部分へは、紫雲膏、ウレパールL、アズノール軟膏、ジユクジユクした部分へは太乙膏を処方した。三ヶ月後、痒みやカサカサやジユクジユクなどが改善してきた。六ヶ月後、肘と膝の裏以外は気にならなくなった。一年後、肘や膝裏が時にかゆい程度に改善。現在も漢方薬を服用中。

三十七歳男性、**眼精疲労**、頭痛、肩こり。顔は青白く、胸脇苦満、両側腹直筋緊張、両側臍傍圧痛。脈は弦、沈、遅。舌は、暗紫紅色、薄乾白苔。仕事でパソコンを一日中使用している。そこで、柴胡疎肝湯（統旨）を処方。一ヶ月後、眼精疲労を始め諸症状がなくなった。腹直筋の緊張がなかなか取れなかったため一年服用して廃薬。

三十八歳女性、**不妊症**、疲労倦怠感、むくみ（特に月経前）、冷え症、めまい。両頬は青白く、腹力は軟弱、胸脇苦満、胃内停水、臍上悸（著明）、臍下悸、下腹部膨満、右臍傍圧痛。脈は沈、弱、遅。舌は淡紅色、薄湿白苔。LH値がFSH値より高く、プロラクチン



〔院長〕

値が高く、低温相が長く、高温相が短い、いわゆる多嚢胞性卵巣と思われる。また、排卵期の卵巣には卵胞が多数認められた。そこで、補中益気湯、当帰芍薬散、紅参、サフランを処方。五ヶ月後、排卵状態が改善。八ヶ月後妊娠。妊娠中はやや浮腫傾向が出現し、当帰芍薬散を継続処方した。妊娠38週にて三二〇gの元気な男児を出産した。

二十三歳女性、**アトピー性皮膚炎**、倦怠感、軟便傾向、足の冷え。青白い顔、腹力は軟弱、胃内停水、臍上悸、左臍傍に抵抗と圧痛と圧痛、下腹部膨満しているが軟弱。脈は沈弱、遅。舌は淡白色、無苔。そこで、真武湯を処方。一ヶ月後、めまい、倦怠感、軟便傾向改善。三ヶ月後、体調もよくなり笑顔で来院。一年間続けて廃薬。

次回は、**齲状態**についてです。



アトピー性皮膚炎

“こころ”と“からだ”と“環境”に影響を受けます。疲労、食欲不振、不満や心配をなくし、生活環境を整え（ダニ、カビ、湿度・・・）、乾燥肌（表皮はカサカサ、皮下はジクジクして熱がこもる）をよくするため、漢方薬（内服、外用薬、入浴剤）を中心に治療していますが、希望により、一部ステロイドなども併用することがあります。



眼 精 疲 労

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。緑内障、シェーグレン症候群、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病などを見逃さないことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。パソコンのし過ぎ、老化などが関係することが多いようです。



不 妊 症

女性側の原因は排卵障害で、視床下部の機能低下、高プロラクチン血症、多嚢胞性卵巣などがあります。また、男性側の原因は造精機能低下で、精子濃度の低下や精子運動能などでストレス。東洋医学的には、微小循環障害（瘀血）、胃腸障害（脾虚）、ストレスや情緒異常（肝鬱）、むくみ（水毒）などがあります。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分**煮て作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器** (無料) をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。
(予約制、2回/月)。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**にチェックして下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、ストレス、アトピー性皮膚炎、・・・などの治療に利用しています。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

外来休診のお知らせ

6月24日(土曜日)の外来診療は、午前11時から代診医師が担当します。漢方診療は午前11時までです。院長は日本東洋医学会総会で座長を務めるため午前11時から出張いたします。ご了承ください。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
正午～午後12時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30 (予約は2:00～3:00)	育児相談(予約) 週1回(無料)	—	—	—	乳房相談(予約) 週1回(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分

4月15日、4月22日、5月13日、5月27日、6月10日、6月17日、7月22日、7月27日、8月12日、8月26日
電話予約可。1月2回(日程はホームページ、掲示板参照)。

◇更年期外来(月 夕方)(予約不要): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊外来(水 夕方): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦外来(火 金): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後12時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇乳房相談(金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

◇育児相談(月曜日)(無料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 育児相談。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 4月1日、5月6日、6月3日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員8名位)(無料)

場所: 当院1階 申込方法: **申込ノートでご予約**して下さい。 *ご主人様もお気軽にご参加下さい。
お産まで奥様の腰をマッサージ(さする)するコツを習得してください。

後期-母親教室

日時: 4月8日、15日、22日 5月13日、20日、27日の各土曜日

対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員8名位)(無料)

お 知 ら せ

4月から母親教室の開催が**土曜日**になりました。

場所 当院1階 人数により1階待合室で開催もございます。

*申し込み方法…受付にあります**申し込みノート**でご予約お願いします。



心

五臓六腑は促進的作用と抑制作用で体の恒常性を保ち、気血水を調整しています。“心”は“血を循環させる”、“意識水準を保つ”、“覚醒と睡眠のリズムを調整”し、“失神、不眠、逆上、不安感、動悸、舌炎”などの症状に関係しています。心気不足では神経衰弱、不整脈、狭心症、心筋梗塞、心血不足では不眠症、自律神経失調症、不整脈など、逆上では不眠症、統合失調症、痴呆、高血圧症などを生じます。“心”の働きを改善するには、食生活、心のゆとり、発汗調整が必要です。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。

ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。
予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
婦人科 産科 漢方科 友達に教える
外来診療のご案内などを掲載 (i-mode対応)

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
老人医療のページ(在宅訪問診療、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

育児相談 母乳相談(助産師)

退院後～1年間の育児相談(無料)と母乳相談(有料)
(乳房マッサージ)をしています。(各1回/週)(電話予約可)
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後12時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接: 随時、
各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。